

HSK

わだち

—全国筋無力症友の会道支部— ニュース —

編集人 全国筋無力症友の会道支部
〒060 札幌市中央区大通西9丁目
協栄生命ビル9階 ☎261-8026

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区北1東4 本間九けし

昭和48年1月13日第3種郵便物認可日付通巻111号

昭和56年7月10日発行 (毎月1回10日発行)

わだち№35 1部 50円



満十周年記念総会に参加して 1~7P

—— 鎌田 毅

—— 鈴木恵美子

—— 中道 和子

—— 東谷美智子

医療講演会のご案内 8~9

支部大会「旭川集会」のご案内 10~13

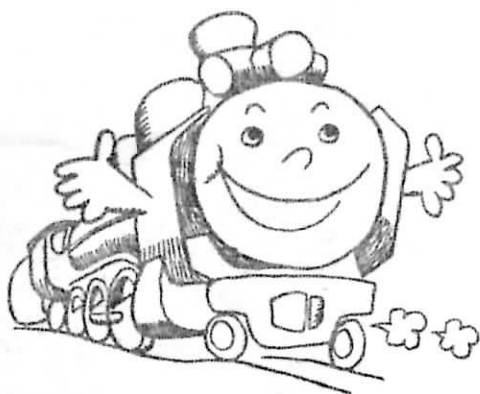
支部会員の近況 16~17

筋無力症に対する胸腺摘出術の効果 18~22

国際障害者年シリーズ No.2 23

難病連からのお知らせ 24

友の会事務局からのお知らせ 25



—— 全国筋無力症友の会 ——

満十周年記念総会

盛会に終る

全国筋無力症友の会満十周年記念総会は、去る五月十日 東京
ステーション・ホテルで行はわれ、北海道支部からは、鎌田支部長
中道副支部長・伊藤理事・東谷さん・鈴木さんが、出席させてい
ただきました。

満十周年記念総会に参加して

鎌田 毅

- 五月の東京は初夏の香りがいっけい、会場のステーションホテルの前には、皇尾
の樹の緑やツツジの白や紅の花は、北海道から出て到着しては、
生々しく美しく見えました。

北海道からは中道・東谷・鈴木・村山・緑川・鎌田の6名が参加予定であり、
私が、村山さんと緑川さんが直前にくわいが悪く行り、その代りに伊藤さんが参加する
ことになりました。

5月10日は午前11時より「医療相談」（これについては中道さんから報告）

午後2時より「総会議事」で前年度決算・今年度予算・活動方針・要望書などを議決。



午後3時に「記念講演」から、柳、有森、瀬川、正岡、宇辰野の各先生からありま
 した。この内容については後日、「希望」などに載つて思いますが、宇辰野先生の所説の
 う一点のみを報告いたします。

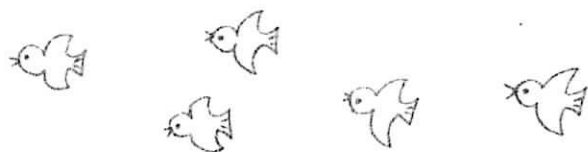
「治療法は①脚腺摘出、②ステロイド治療、③血しょう交換等がある。今日で
 は①と②でほとんど解決される。③は(宇辰野先生のころで)8割だけで、②で
 の退院者が少ない③はすべて患者は入っている。③としてはいいと地方から多く申
 し込めがあるが、おこわしている。③は、①と②等何をやってもない場合におきか
 べきである。」とのことであります。

午後6時から「夕食会」「レセプション」。札幌にいられて以来台湾の呉さんの
 「カンパイ」で存じやかり閉幕、昨年まで北海道いからいらした大橋さんなど交わり、夜
 の小川のそばで楽しく語り歌う。

翌5月11日(月)「都内観光」大型バス(はとバス)にいつもの会費が参加。浅草
 →隅田川→国会議事堂→迎賓会→NHK会館→新富町で東京の名所をめぐり、
 視野が広がる。そして小雨けむる(この夕べ前から雨)利田と眼下に一路北へ
 進路をとる。



全国の
 支部から贈ら
 れた花束を手
 に、あいさつ
 をされる会長

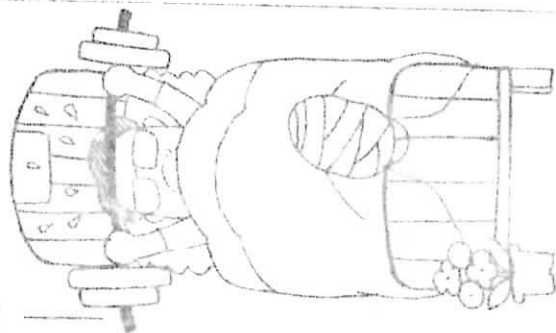


ところで、北海道からはるはる参上し、5人の侍の様子について、もう少々詳しい報告を申し上げたいと存じます。この5人のうち、伊藤さんをお呼びは、初めての^{おじ}おじさんか、おじさんのおじさん、エゾ地という辺境の地よりの野蠻人と見られてゐるかと、白いスーフや青い袴にエリユウと着せし、壁ぬりを入りかたし、銀アブ、皇居前とかつ木の姿、女れが見て筋無力症患者又は、それをかかせるフケ込人の家後とは見えず(と思つてゐるのは自分違ひからかして)。病氣をうつアライと天下の東京をデモストレーション。銀アブしからさん曰く「何回も死せうかといふんで勝たないわ」。その後コセーを一はい飲み、東京駅まで歩きた。それを見て驚いては二利です。前日に銀アブ、我舞枝見物、皇居前アブして「ゼーンゼンなしてさう」とのことでありし。

調子のよいことばかり書きました。今イベントからはおいらんの方であります。しかし、この「夢がない」などの起ることは夢ではなくなつてきています。次回は京都で開く予定のせうです。一人でも多くの会員が参加できるように祈つています。

● 今回の大会のために、色々と苦勞下すまいに、武田会長さんには本部の方へ、並にお上野大学等のボランティアの方へ、この紙面を借りて、厚く感謝申し上げます。

(西区西野の整形外科病院にて
「おいらん」が皆様の元気にとく、私のアリス胸を引つ
いてはることを思ひます。



初めての飛行機

そして全国大会出席

鈴木恵美子

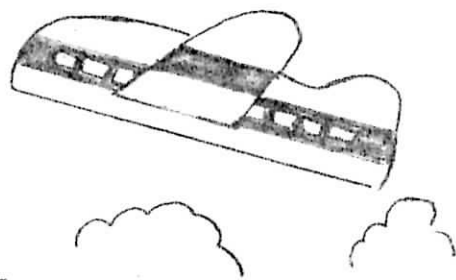
皆様こんにちは。とても良い気候になりましたね。お体の調子
はいかがでしょうか？ 五月十日の意義ある十週年総会に出席でき、
大きい喜びと感動を得ましたので少々記します。

私は発病してから十五年になります。今から五年前迄は筋無
力症の患者の中では重病の方でした。全身重てフリーセはたむた
む。ノノタ番のお世話になるのもしつちゆうと言う状態でした。
ところが、五年前より少しつつ良くなり今では、マテラーセ^{3/4}
錠で主婦の仕事は出来るようになりました。

そうとは言え、年に一回は肺炎になるので油断は出来ないので、
今年も一月から二月まで、肺炎に悩んだので総会は無理ではと言
われましたが、とうしても行きたいと言う一心で体調をととの
え、おかげ様で行くことが出来ました。

小学生の修学旅行の時みたいに着きうきとして、千歳空港より旅
立ちました。飛行機の中では、緊張したり、ほしやいだりして、
ステューワーデスさんに笑われり
しましたが、無事到着。

総会は十周年にふさわしく、中味の
こいもので、盛大に開会、東京支部の



皆さんが心をこめて接待してくれました。

武田会長さんは、不調から最後まで気をつけておられ、心が痛々しました。又、札幌鉄会の所見を長方々にあらい出衆、友情をたしかめられました。本当に来て良かったと心より思いました。「総会に出席したくても出来ない」と病氣と戦っている会員の方々がたくさんいらっしゃると思います。ですが私も、少し前までは寝たきりの会員でした。皆さんも希望を大きく持って、総会に一人でも多くの方が出席できるように、がんばりましょう。最後に総会に出席できたことほもちろんですが、ハトバスで都内観光までしていただき、心の洗濯が出来ました。毎日の生活にはりが出来、とても楽しい日を過ごさせていただいています。来年の京都での総会にも出席できることを願っています。



57年度 全国総会は大阪支部の受持で京都で開催されることになりました。時期とかは、まださきまつておりませんが、春頃です。皆様、体調をととのえて、春の京都にいらしてみませんか？ 来年の為に積立預金などと言うお話もありますので、参加される方は申し出て下さい。

医 療 相 談 会 に 出 席 し て

中道 和子

当日総会に先き立ち、午前十一時より二時間にわたり、医療相談会が開かれました。講師には宇尾野先生と、昨年北京道総会にもご出席下さいました、瀧川先生です。

お話を聞いて、患者と医療者との関係の中、本部の皆さんの同病者としての悩みが、質問者は発病してからの経過が、どうですか？、発病したら、まず、気管鏡撮影法で咽喉異常をしらべる。その、手術後は、呼吸筋のリハビリテーションをする。

(たとえば、紙風船をふくらませ遠くへ吹き飛ばす)

また、という、リウマチの薬で筋無力症を誘発

させる事があるのではと気をつける。相談者は十六名で、上記のような事か印象的な先生のお答えでした。質問者も、そうではない人も、それは熱心に聞き入り、二時間は本当に間に過ぎました。



再会の喜び

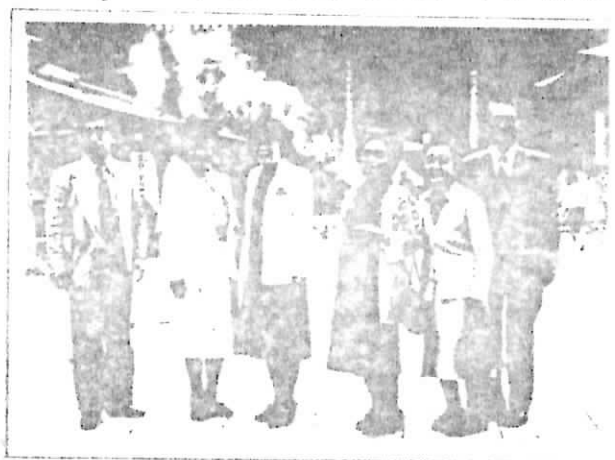
東谷 美智子

この度、全国総会に参加しました。

昨日、北海道にいらした各支部の方々が夕勢かえらぬ、再会を喜び合いました。皆さん

とてしなくたいさうなうたい
午後6時から始まる夕飯
会では、友の会の人々が作
った歌「希望のつとめ」

「清流の人」を全員で合唱



し8時30分に会が終り、その後、宿舎にもどり、入浴後、私達の
部屋に各支部の人達10名が集まりました。

山形の地酒を持参された方がいて、アルコールも手伝って、夜遅
くまで話がはじまりました。北海道の思い出話、来年の総会の話。
次の年はどこが良いか？ など……とてもとてもおこやかな「席で
した。その中で総会の開催地が毎年変わるのには良い事、参加したい
と思う事が、はげみになり病気も良くなるのでは、〇 ほど話はつ
きませんでした。

次の日は、都内観光にも一諸に参加し来年の再会を約束して、お
別れしました。

医療講演会

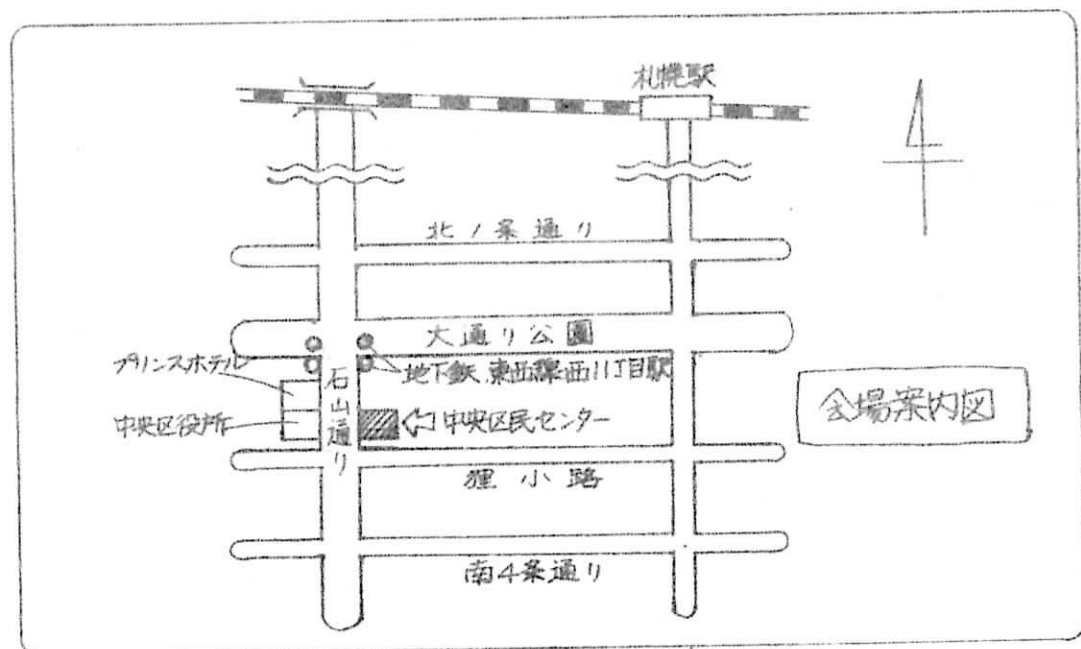
とき 8月2日 10:00~12:30

ところ 中央区民センター(和室)

(札幌市中央区南2西10)
TEL 271-1100

テーマ 重症筋無力症の
急性増悪を考える
— その原因と予防法
そして救急に備えて —

講師 北大脳外科神経内科班
島 功二先生



・クリーゼは、なぜ おきるのか

どのようなときに おきるか

・患者や 家族にとって、もっとも おそれていること
もっとも関心のあることと思います。

・このクリーゼを みんなで考え、正しい対応を学ぶことによつて、少しでも クリーゼを減らし、また、安心して
療養できるようにしたいと思います。

・ぜひ、ご家族と共に ご参加下さい。



待っています

昭和56年度 友の会北海道支部大会

旭川集会

札幌ばかりでなく、地方でも会のあつまりをもとう、というこの数年間の願いを、ようやく実現することとなりました。旭川周辺の会員の方は、ぜひ、ご参加下さい。

また、札幌及び周辺の方、また札幌へ出ることが可能な方は、バスと一緒に参加したいと思います。少し長距離になりますが、晩秋の十勝岳の観光もあわせて、ゆっくりと楽しい一時をもてればと思います。

この集会には、北大神経内科の先生方と旭川医大小児科の奥野助教授も参加され、一人ひとりの患者・家族と膝をまじえて、じっくりと個別相談も行う予定です。

ホテルは、全館を借り切りましたので、お子さんも、のびのびと遊べます。

ぜひ、多数、ご参加下さい。



1. 時 10月10日(土) 15:00より
11日(日) 13:00まで

☆11日は、バスで十勝岳展望台まで上ります。すばらしい、雄大な景色です。筋無力症患者にとっては、最高の登山(?)の機会です。

2. 会場 ホテルガーデン
(上川郡美瑛町白金温泉)
TEL 016694-3226

3. 費用 1人 6,000円 (宿泊費、食事3食)
☆幼児、子供 別料金

4. 交通費 札幌より、バスを利用の方は 1人 5,000円
(往復)
旭川より " 1人 1,000円
(途中乗車可能です。早めにご連絡を)

5. 補助 今回は、先生方も多数参加していただくため、支部よりの参加費補助は、あまり期待できませんので、ご了解下さい。

ただし ① 遠方より、ご家族で参加される方は、特別補助を行います。(詳細未定)

- ② 生活保護受給者、または、経済的困難の方は、交通費の全額補助を行います。早めに事務局へご連絡下さい。
- ③ 10日の昼食は、途中でドライブインへ寄りますので、各自で負担して下さい。
- ④ 11日の昼食は、支部で用意します。

6. 申し込み 同封はがきて 9月15日までに 友の会事務局へ お申し込み下さい。
参加費、交通費は 当日受けいたします。

美瑛町から 白金温泉へ向う白樺林の中の本道。そして前方に突然、十勝岳の雄姿があらわれる。すばらしい感動があなたをつつむことは、まちがいありません。



そして 大自然の中で、ゆっくりと温泉に浸る気分は、最高です。初めての人でも、信じられないくらいおいしいというイノシシ鍋、残った汁まで持ち帰ったくらいです。

そして、パチカの前で先生を囲んで、ゆっくりとお話を。

今年参加できなかった人は、本当に残念!!と 菌ざしりしてくやしがることでしょう!



バス運行時刻(予定)

☉ 行き ☼

10:00 札幌駅北口 出発
(途中乗車は可能ですので
事前に連絡を)

14:00 旭川市民文化会館前 出発

15:00 白金温泉到着

☼ 帰り ☉

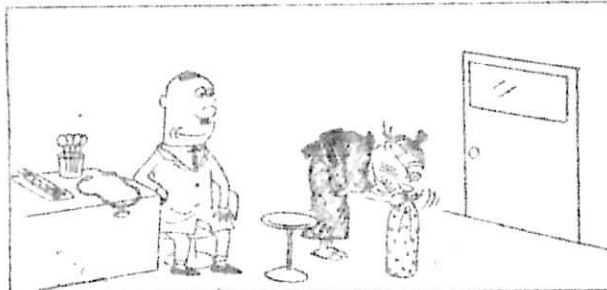
11:00 白金温泉出発
十勝岳展望台で昼食

13:00 旭川駅前 到着

17:00 札幌駅北口到着
(途中下車可能)

ちよつとひとやすみ

(じつはパージ教をふりまちがえたいのだ。スママセン)



支部会員の近況

今回は 南札幌病院に入院中の患者さんのところに中道副支部
長他四名の役員が訪問してまいりました。

折笠 祝子さん

55年11月発病。今年の3月胸腺手術をして、現在入院中
ですが、経過は良好にやうです。ステロイドのコントロール
が出来したい。退院にやうです。下がっていい服も聞いて、
とても美人にもどってよかったですネ。

保母さんもおどっていいやうです。早くお仕事ができるよう
にやうです。お祈りしてあります。

岩淵 絵美ちゃん

中学生の可愛い絵美ちゃん、お訪ねした時、お母さんと散歩
からもどられたところでした。歩くのが多少に不自由にお見
受けしました。6月初旬、手術を受けたいやうですが、早くお
元気になり、学校に行かれるとよいですネ。

水正 恵美子さん

548年に発病、初めは眼科に2ヶ月通いました。
556年2月、胸腺手術を受け、手術前はメステノン4~5錠
飲んで、軽いフリーセカ来ているけれど、術後は、アレド
ニン60% メステノン1~1.5錠飲んで1週間後から急に良
くなりました。言葉は少し鼻にゆりゆりか、今は感謝の気持ち
でいっぱいです。

小川 艶子さん

551年11月に発病、初めは多発性筋炎と診断2小月でした。
555年10月、筋無力症と言われ小月でした。その時は、両手、両
足、あごの病状があり、56年4月28日、胸腺手術を受け、今
はウアレチド1錠で病状は良いほうです。

室谷 美月ちゃん

556年1月より入院していた美月ちゃんも、6ヶ月ぶりに
退院2小月でした。オメテトウ〜
今度は、幼稚園ですネ。むりもしないで、幼稚園でたくさん
のお友達をつくらせて下さいネ

筋無力症に対する胸腺摘出術の効果

大阪大学医学部第一外科

門田 康正



門田先生

重症筋無力症に関する研究はこの5年間に急速に発展してきました。これは主としてアセチルコリン受容体抗体の研究に関連して重症筋無力症の本態を明らかにしようとする方向に進んでおり、いまだその成果を治療方法に活用しうる段階には到っておりません。

従いまして、治療法としては従来から行なわれていた方法、即ち抗コ剤（メスチノン、ウブレチド、マイテラトゼ、ワグステグミン）、ACTH、ステロイド、血漿交換療法、胸腺摘出術等が現在でも行なわれています。

私達は従来から胸腺摘出術を積極的に

行ない、手術方法を改善し、治療効果を高めるように努力してきました。

今までに阪大第一外科で手術を受けた筋無力症患者は男72名、女131名、計203名であり、このうち胸腺腫を合併していた人56名、胸腺腫のなかった人147名であります。

これらの手術後の患者の予後と胸腺腫の有無、手術方法、術前有症期間の長短等とを比較検討した結果、胸腺摘出術の有効性やその効果の現われ方、あるいはどの様な患者に胸腺摘出術が最も有効であるか等がかなり判ってきましたので、その結果を「友の会」の皆様にお知らせしたいと存じます。

阪大第一外科における筋無力症の治療方法は昭和48年を境としてかなり変りました。

その第一は胸腺摘出術の手術方法を変えたこと、第二は胸腺腫の化学療法について最も効果的であると思われる方法を私達の経験の中から選び出したこと、の2点にあります。

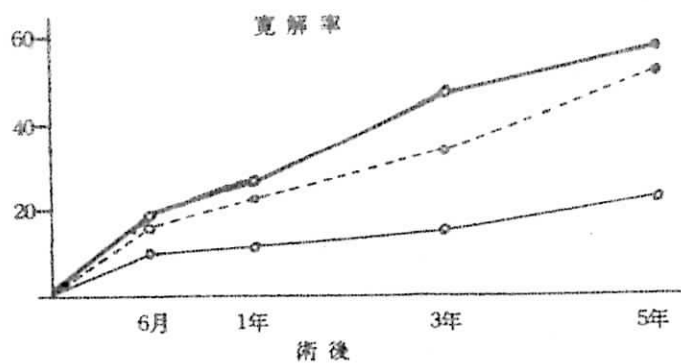
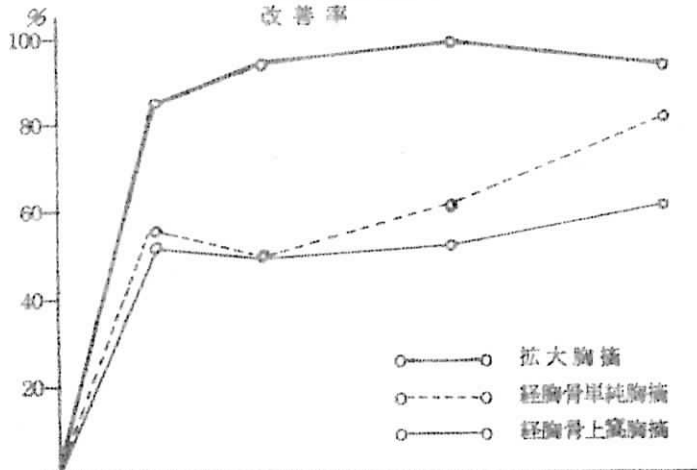
胸腺摘出術々後の予後は手術々式により異なります。手術方法は現在、大きく

3種類に分けられます。第一は胸骨を縦に切り開き、一塊となっている胸腺だけを摘出する方法（経胸骨単純胸腺摘出術）第二は胸骨は切らないで、頸部を横に切り、そこから胸骨の後にある胸腺を引き抜くようにして摘出する方法（経胸骨上窩胸腺摘出術）、第三は胸骨を縦に切開し一塊となつている胸腺とその周囲の脂肪組織（この中にも胸腺組織が含まれている）を全部摘出する方法（拡大胸腺摘出術）の3種類です。筋無力症に対する胸腺摘出術として当初世界的に行なわれていたのは第一の方法でしたが、第二の手術法の方が手術が簡単で患者の負担が少ないとの理由で第二の方法が行なわれるようになり、阪大第一外科でも第一の方法から第二の方法に一時期変更しました。しかし術後長期間にわたって患者の状態を詳細に観察しているうちに、私達は第二の手術法で手術をうけた患者では手術の効果が低いことに気付きました。そこで摘出すべき胸腺の存在部位を再検討した結果、第三の方法で周囲の脂肪組織をも摘出すべきだとの結論に達し、昭和48年以来、阪大第一外科では全例、こ

の第三の方法で手術を行なっています。この手術方法は*注「正岡の方法」として注目され、我国では勿論、海外でもこの方法で手術をする施設が増加してきています。さて胸腺腫のない患者について、この三つの手術方法による胸腺摘出術の予後を比較したのが図1です。改善率という

のは手術を受けた患者のうち、手術後に手術前より症状が軽快した患者の割合であり、寛解率とは手術をうけた患者のうち手術後に症状がなくなり薬の服用が不要となつた患者の割合であります。
*注 「正岡の方法」とは、前阪大第一外科教授、正岡昭先生が提唱された術式で、正岡先生は、現在名古屋市立大医学部第二外科部長です。

図1 胸腺摘出術々式別予後 (胸腺腫非合併例) 改善率



例えば上段の改善率は術後一年目には拡大胸腺摘出術で90%、他の二方法で45%です。つまり拡大胸腺摘出術を行なった患者100人のうち術後1年目には90人が良くなっているのに対し、他の2方法では45人しか良くなっていないことを示しており、拡大胸腺摘出術では大変手術後の経過が良いことがわかります。以前、私達は「手術効果が現われる迄には3年あるいは5年かかる」と云っていましたが、拡大胸腺摘出術々後では6ヶ月目には80%の患者が術前より筋無力症が良くなっています。つまり、この手術方法で胸腺摘出を行なうと手術効果が早く現われます。

しかしこれは改善率に関しての話であって、下段の寛解率のグラフでわかりますように手術1年後に筋無力症の症状がなくなってしまう患者は決して多くはなく、拡大胸腺摘出術を行なった患者でも20%にすぎません。

しかし、この寛解率は日時の経過とともに増加しており、拡大胸腺摘出術後5年目には50%に達しています。つまり拡大胸腺摘出術を行なうと、術後早期に

状態は軽快し、経過とともに症状改善の程度は良好となり、術後5年目には半数の患者は筋無力症の症状が全くなくなっていると云えます。しかし、術後5年で寛解率が50%ということは、「残りの50%の方は症状の改善はみられてはいるものの服薬が必要である」ということを示しており、根気強い治療が必要です。

またこの図1のグラフから拡大胸腺摘出術が他の2方法に比べて優れていることがわかります。

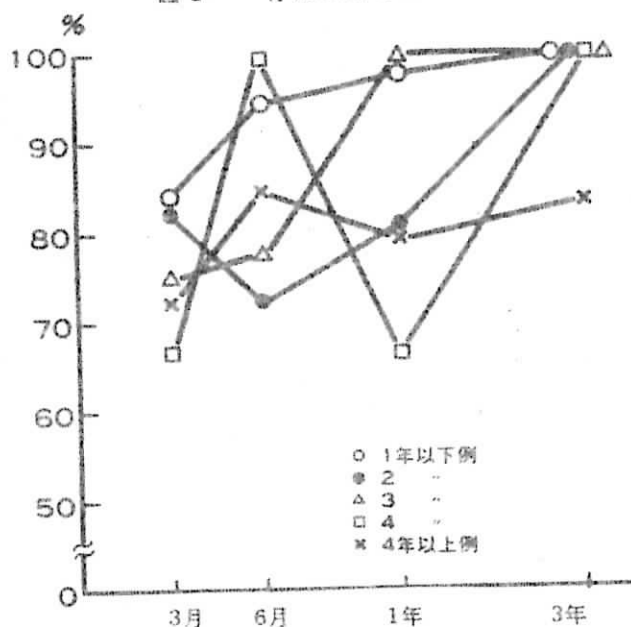
さて冒頭にも記しましたように、最近の筋無力症研究の進歩はアセチルコリン受容体抗体に関するものが主であります。筋肉が収縮するためには神経からアセチルコリンが出て、それが筋肉にあるアセチルコリン受容体に受けとられてはじめて筋肉が収縮します。筋無力症患者にはアセチルコリン受容体抗体が血中にありこの抗体はアセチルコリン受容体と結合します。この抗体が結合したアセチルコリン受容体は筋肉から消え去るためにアセチルコリンを受け取ることの出来る受容体が減少して、筋肉が充分に収縮できず「筋肉に力が入らない」という結果に

なると考えられています。

経胸骨単純胸腺摘出術や経胸骨上窩胸腺摘出術を行なっていた頃はこの「抗体」を測定していませんので不明ですが、拡大胸腺摘出術を行なった患者では明らかに血中の「抗体」が術後減少しています。

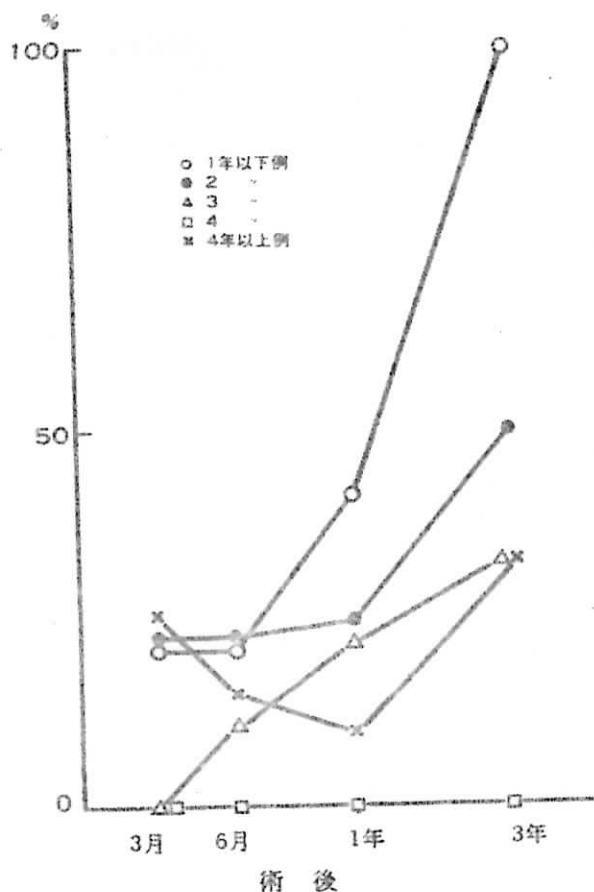
次に術前有症期間と手術成績について説明したいと思います。術前有症期間とは発病してから手術までの期間であり、これの長短により手術後の寛解率にかなりの差が生じます。まず術前有症期間と術後の改善率の関係をみますと(図2)術前有症期間が長くても短かくてもほぼ同程度の改善率を示しています。つまり発病から1年以内の人でも、発病から4年以上(10年以上の人も多く含まれている)の人でも胸腺摘出術を行なうとおおよそ70%から85%位の人に効果がみられます。しかし、術前有症期間と寛解率との関係をみますと(図3)術前有症期間と寛解率の間に密接な関係があることがわかります。術後3年目をみますと、有症期間が1年以内の人はほぼ全員が服薬不要となっており、2年以内の人では半数であり、以下有症期間が長くなる

図2 有症期間と術後改善率



と寛解率は低下しています。
 図2と図3から、発病してから長期経過した人でも手術をうけると効果があるが、なかなか服薬不要になるには至らない。服薬不要になるほど症状が改善するには発病したら出来るだけ早く手術を受ける必要がある、と云えます。
 最後に胸腺腫の有無により筋無力症の予後に差があるか否かについて述べます。
 胸腺腫は一般には稀な疾患ですが、筋

図3 有症期間と術後寛解率

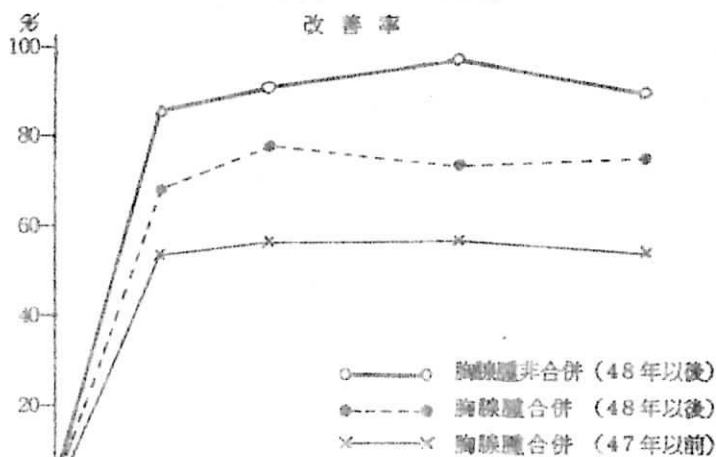


無力症患者には決して稀ではなく筋無力症患者の3と4人に1人は胸腺腫があります。しかし現在まで、筋無力症と胸腺腫との因果関係は全く判っていません。
 胸腺腫合併例を昭和47年以前に手術した人と、昭和48年以後手術した人

に分け、その予後を胸腺腫非合併で昭和48年以後手術をうけた人(拡大胸腺摘出術)の予後と比較したのが図4です。
 胸腺腫合併例では非合併例に比して改善率は低値ではありますが、47年以前と48年以後とを比較すると、48年以後はかなり良くなっています。この点は寛解率に関して更に著明であり、47年以前は10%以下でありましたが、48年以後の症例では胸腺腫非合併例と比べ遜色のない

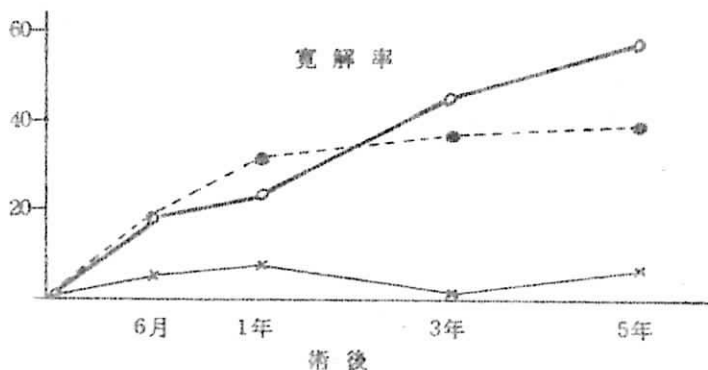
寛解率が得られています。
 以上のように阪大第一外科における筋無力症の治療成績は10年前に比べて大変向上しました。しかし、今日でも筋無力症が長期にわたって治療を必要とする疾患であることには変わりありません。症状は日々、あるいは月々、更には年単位で変動し波がありますが、手術後は時間の経過

図 4 胸腺摘出術々後予後改善率



過とともに良くなつてゆきますので辛抱強く療養して頂きたい思います。

寛解率



伊藤 たてお

夜汽車に乗って、カンカンカ
ンと鳴っている聴覚を過ると
驚動が激しいのが特徴です。そ
き、周囲の家のあかりと、無切
りにたずむ人を見ると、羨、を
くするのは、外見は健康人とほ
ぼ同じです。そして、自分が聴覚
とんと変わらないうことで
に立って、し、断絶の切こ
うを過りすぎる列車と明るい
中の人を見て、そこにまた
で外出できるよになったので



、羨、を過ります。同じ時間、
同じ場所、同じようなことを
考えていて、一人は走りすぎ
一人は、そこにたずむんでいる
わけです。障害者と健常者との
関係も、このように見ることが
できるのではないのでしょうか。
Sさんは、聴覚断絶力にたい
う弱気です。この弱気は、金剛
の脱力、またたか下がる、物が
に、ぐっとにらみつけられ「こ
二重に見える、呼吸が困難にな
るなどの症状を待っています。
治療と検査によって相当程度に
軽減し、日常生活はとうやうら
れるようになっていますが、症状の
変動が激しいのが特徴です。そ
き、周囲の家のあかりと、無切
りにたずむ人を見ると、羨、を
くするのは、外見は健康人とほ
ぼ同じです。そして、自分が聴覚
とんと変わらないうことで
に立って、し、断絶の切こ
うを過りすぎる列車と明るい
中の人を見て、そこにまた
で外出できるよになったので

健常者の無意識性



お湯の中で機能回復に取り組み一礼観・山の千里ハビリセンターで

差別が日常の中で

とも思いつかず、思わず席を立
つてしまいました。恥ずかしい
やうな経験が繰り返っているとい
う経験が次々と出されま
す。

はじめに気が付かなくなって、たまたま、おがまんして、初めから立って
ました。そのいふは、聴覚の穴が口か
ら列車まで、聞かざるために、
われ先に走り出す機嫌がいつも
見られます。その時に取り残さ
れるのは、聴覚が一番必要なお
年寄り、障害者、乳幼児を連れ
た人々なのです。
周囲聴覚の障がいというこ
ろでしょうか。ここでいいたい
のは、このように、健康な人た
ちが、意識していか、いない
かにかかわらず、意外に障害者
と二重の健康な人とか日常的に
差別を待っている、ということ
です。
また、その無意識性が、時に
は障害者の困難をより困難にし
たり、差別したり、排絶したり
するところがあります。自分の行
うこともあります。自分の行
が、行動が、他の人々に対するよ
うな影響を与えたのかについて
考みふたいと思えます。
山奥の美しい小川に建てられ
た空をカン、記に建てられた大
堂のゴ、無断作に吐き出しさ
れるタンをみるととき、障害者
の姿がクアツて見えます。これ
を、日常性の中の障害者問題の
意識に結びつけるとしたら、こ
じつけに何をさしてしょうか。
(伊藤 達生)

難病連からのお知らせ

第9回 難病患者・障害者と家族の全道集会

開催のご案内

とき 8月2日(日) 13:30 ~ 16:30

ところ 中央区民センター 大ホール
(札幌市中央区南2西10 TEL271-1100)

すでに ハガキの案内が
届いていることと思いき
が、たくさんのご参加を
お待ちしております。



友の会の医療講演会が
同日、同会場で行われま
すので、そのまま参加で
きます。

難病連を支える中心の
会として、30名以上の参
加が必要です。ぜひ
ご家族も誘い合せてご参
加下さい。

友の会事務局からの

お知らせ

🌸🌸 住所変更のお知らせ 🌸🌸

- ・水正恵美子さん
- ・瀬口フジ子さん
- ・市川 千鶴さん

🌸🌸 ご寄付をいただきました。

ありがとうございました。🌸🌸

- ・東谷美智子さん ¥6800-
- ・友善 君枝さん ¥1,000-
- ・中道 和子さん ¥1,6000-
- ・秋葉みどりさん ¥1,000-
- ・鎌田 瞭子さん ¥2,115-

🌸🌸 56年度の会費をおねがいします 🌸🌸

会費未納の方には、郵便振込用紙を同封しましたので、よろしくおねがいします。

会費は年額3000円で、納入方法は一年分か 半年分をまとめてお納め下さい。

あ と が き

七月と言うのに肌寒い夏です。カゼには十分気を付けて下さい。

先日 久しぶりに太陽さんの顔を見た日、大通り公園でお弁当を食べました。心まで太陽のあたたかみが伝わった感じがしました……早く本当の夏が来てほしいですネ。八月二日の、医療講演会、難病全道集会で、皆さんにお会い出来るのを楽しみにしております。

(み)

☆ 今号には、大阪大学医学部オー外科 門田康正先生の内容を、大阪支部の機関誌より転載させていただきました。本来ならば、昨年8月に札幌で開催された全国大会のうちに記念講演として発表していただいた、市立札幌病院胸部外科の中瀬先生の講演を掲載するべきところですが、準備の不手ぎわで、間に合いませんでした。中瀬先生には、深くお詫び申し上げます。支部会員の皆様のご了解をお願いいたします。(伊藤)



+++ あなたの会費は ++++++
+++++
+++++ 昭和 年 月～昭和 年 月まで納入されております。 ++++++
+++++ 会費の納入は、同封の郵便振替用紙をご利用ください。 ++++++
+++++ 切手でも可 (1年分3000円) ++++++
+++++

編集人 全国筋無力症友の会北海道支部
〒060 札幌市中央区大通西9丁目
協栄生命ビル9階 電話261-8026
発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区北1東4 本間たけし
昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻第///号
昭和56年7月10日発行 (毎月1回10日発行)
わだち No.35 1部50円